

はぎの里運営推進会議録 第 16 回

日 時	令和 2 年 12 月 11 日 13 時 30 分から	
場 所	田原コミュニティセンター	
出席者	自治会長	1 名
	民生委員	1 名
	校区有識者	5 名
	ささえりあ	1 名
	家族代表	1 名
	はぎの里職員	会長、代表、宮崎
	田原ふれあいの家	淵上

現状報告

令和 2 年 10 月 13 日から令和 2 年 12 月 11 日まで

入居者数	9 名(男性 0 名 女性 9 名)	
平均年齢	87.2 歳	
平均介護度	1.89	
介護度	要支援2	0
	要介護1	4 名
	要介護2	2 名
	要介護3	3 名
	要介護4	
	要介護5	
地域別	熊本市北区	8 名
	中央区	
	東区	
	西区	1 名
	南区	
野外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で基本的には自粛 ・室内での活動に工夫を凝らす 	

日常の経過報告

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ガラス越しの面会に限定して実施している。
- ・9 月 21 日 100 歳の表彰式を行った(R3 年 1 月 3 日が 100 歳の誕生日)。
- ・野外活動は自粛していたが、気分転換のため人の少ない場所を選んで紅葉見学を行った。
- ・12 月 9 日外部評価を受けた。

議 題

- 1、外部評価について(ヒヤリハット、事故報告書)
- 2、防火訓練について
- 3、次回の運営推進会議の日程

1、外部評価について

- ・12月9日調査員2名来設
- ・ホーム内清掃が良く出来ているとお褒めの言葉をいただく。「大きな窓に曇りがなく外が良く見える」「ユニフォームがおしゃれで、男性職員の歩く姿も生き生きしている」など。
- ・待機者については確保していない。空床の時期は不透明、待つ期間が長くなると申込者も不安になる。9月中旬から1床空床だったが12月1日に満床になる。
- ・ヒヤリハット・事故報告書 月に数枚ヒヤリハットが出る。書いただけではなくその時に確認を行い、同じことが起きないようにしている。骨折事故はなし、事故報告書の市町村への提出なし。利用者の動作に異変があった場合には医療機関を受診して骨折の有無などを確認するようにしている。

2、防火訓練

- ・この時期の訓練で密になるのは避けなければならない、消火器点検操作の熟知や連絡体制の再確認等に重点を置いた方が良い。

3、次回の運営推進会議

- ・令和3年2月12日(金曜日)、田原コミュニティセンターで13時30分から